第12回 One Book One OSAKA 事業実行委員会報告

令和6年3月5日 13:00-14:20

大阪市立中央図書館 5階中会議室

1. はじめに

- ・ 配付資料の確認（レジュメ、別紙1～5）
- ・ 出席者確認 【別紙1】参照
本日の出席者は現時点で22名、委任状・代理人による出席が10名であり、構成員34名の半数を満たしており、実行委員会の成立を確認

2. 報告事項

(1) 第9回 One Book One OSAKA 投票の実施について

- ・ 投票期間：令和5年6月5日(月)～12月28日(木)
- ・ 投票方法：インターネット・投票用紙
- ・ 協賛：7社、協力：1社
- ・ 投票呼びかけ：投票用紙16万枚印刷、ポスター1,000枚印刷
全市立図書館、各区子ども・子育てプラザ、大阪府立中央図書館に投票箱設置
全市立小学校（義務教育学校(前期)含む）児童へ配布、全市立保育園へ送付ほか
- ・ 主な取り組み等について【別紙2】参照
前は投票用紙の印刷は3万枚だったが、今回は協賛企業が増え、16万枚印刷した
各所での単発イベントや、One Bookを集めた図書展示でポスター・投票用紙を設置して呼びかけ
定例おはなし会やブックスタートなど日常的な催しでの投票呼びかけも行った
協賛企業の協力で、出張投票コーナーなどを複数回実施

(2) 第9回 One Book One OSAKA 投票集計結果について

- ・ 投票総数：12,305票 【別紙3-1～3】参照
投票内訳：投票用紙12,110票（うち大阪府立中央図書館65票）、インターネット195票
〔 参考：第1回 8,466票 第2回 13,012票 第3回 14,194票 第4回 9,004票 〕
〔 第5回 12,512票 第6回 10,366票 第7回 9,271票 第8回 6,416票 〕
- ・ 最多得票『りんごかもしれない』（803票）、次点『スイミー』（739票）
- ・ 年齢別では、0～6さいは『きんぎょがにげた』、小学生1～3年生は『スイミー』、小学生4～6年生は『りんごかもしれない』が最多得票
- ・ 投票用紙のレイアウトを工夫した成果か、「1 あなたのだいすきなえほん」の投票が多かった
- ・ 小学生からの投票では絵本以外の本も多数寄せられた
- ・ これまでで4番目に多い投票総数だった

(3) 会計報告について

- 【別紙4】参照

(4) 会計監査報告について

【別紙 5】 参照

3. 協議事項

(1) 第 9 回 One Book の決定について

最多得票を得た絵本『りんごかもしれない』に決定

(2) 第 9 回 One Book の発表について

「子ども読書の日」令和 6 年 4 月 23 日(火)に図書館ホームページで発表
横山市長による第 9 回 One Book 発表動画を撮影して YouTube で公開予定

(3) 令和 6 年度の予定について

- ・ 中央図書館 1 階エントランス展示
- ・ 投票結果をもとに各区で絵本展示を実施
- ・ 秋の図書館フェスティバルなどで One Book にちなんだイベントの実施を検討

(委員より)

- ・ 区内の小学校でポスターが掲示されているところもあれば、掲示されていないところもあった。この事業を知らない学校もあり、浸透していないのがもったいない。せつかく学校司書がいるのだから、学校司書を通じてポスター掲示や投票用紙の配布を行うなど、周知するしくみを考えては。

(事務局より)

- ・ ちらし・ポスターは全小学校（義務教育学校[前期]含む）に配布している。各区の図書館を通じて周知は行っているが、さらに学校図書館に貼ってもらえるような各校への声かけについて検討する。

(委員より)

- ・ 「One Book One OSAKA」の「OSAKA」の意味は？ その点について学校司書を通じて周知したらよいのでは。また、ちらしの配布状況はどうだったのか。

(事務局より)

- ・ この事業は「One Book, One Chicago」を参考に始めた取り組みで、当初の「OSAKA」は「大阪市」、実行委員会での実施になった第 4 回以降は「大阪府域」を意味している。一冊の本を選ぶ過程や、これをきっかけに絵本に親しむことを大切にしながら取り組んでいる。こういった趣旨がしっかりと伝わるような周知を検討する。また、ちらしの配布状況については、確認して改めて報告する。

(事務局より・後日追記)

●投票用紙印刷：160,000 枚 配布部数：156,500 枚 残部：3,500 枚

＜配布内訳＞全小学校(義務教育学校[前期]含む)児童配布：127,250 枚、全市立幼稚園：5,400 枚、
全市立図書館(各区施設用・出張投票用含む)：23,350 枚
大阪府立中央図書館、こども本の森 中之島：500 枚

●ポスター印刷：1,000 枚 配布部数：900 枚 残部：100 枚

＜配布内訳＞全小学校(義務教育学校[前期]含む)児童配布：286 枚、全市立幼稚園：54 枚、
全市立図書館(各区施設用・出張投票用含む)：557 枚
大阪府立中央図書館、こども本の森 中之島：3 枚

4. その他

(1) 今後に向けて（意見交換）

（事務局より）

- ・ 投票用紙の真ん中に大きく「1 あなたのだいすきなえほん（自由記入）」があり、前回よりも自由記入を選ぶ割合が多かった
- ・ 投票用紙の絵本の番号の配置位置がタイトルとセットではなく、絵本画像の下だったので、一つ下の絵本番号を記載している事例が見受けられた
- ・ 投票用紙裏面の年齢欄が目立たなかったのか、未記入のものもあった
- ・ 投票用紙裏面の上部の「1 あなたのだいすきなえほん（自由記入）」の詳細を書く欄についても、本のタイトルを書く場所がわかりにくかったのか、空欄のものがあった
- ・ 小学校から届いた投票用紙は「1 あなたのだいすきなえほん（自由記入）」の割合が高く、絵本以外の本も多数あり、いま小学生に人気のあるタイトルがわかる結果となった
- ・ 出張展示ではポスターヘシールを貼る形式で投票を行ったため、年齢別での集計はできなかったが、10代の子やその保護者世代の方がブックスタートでプレゼントされたと思われる絵本『がたんごとん』を懐かしがる声が聞かれた

（委員より）

- ・ 学校司書は1校あたり週1回の勤務で多くの業務を抱えている。しかも学校を踏まえてでない、学校主体で取り組んでもらうのは難しい。自分がボランティアとして関わっている小学校では、「One Book One ○○(学校名)」を行うなど、積極的だった。投票用紙を送るだけでなく、学校司書から先生に働きかけていただくのが有効だと思う。
- ・ 小学校で週1回朝読の時間に読み聞かせに行っている。こうした取り組みを他の学校でもできれば、絵本を読む楽しさを子どもたちにもっと広げられるかもしれない。
- ・ 今回、自由記入の絵本がバラエティに富んでいて感動した。投票用紙の作り方が良かったと思うので、ぜひ続けてほしい。
- ・ 絵本の会に入るまでも投票用紙は目にしていたが、投票する意識がなかった。情報が行き届いていないと感じる。その断絶に対してどのように対策したら良いのか。
- ・ 投票用紙では候補本をたくさんあげているが、それ以外を選んでいる子が多いということも、もう一度考えてみる必要があるのでは。
- ・ 投票用紙のレイアウトが良かった。子どもたちが、自由記入で本当に好きな絵本を選んでいるのがすばらしい。周知については、さらに積極的に取り組む必要があると考えている。
- ・ これまで小学校や幼稚園で宣伝をしたことがなかった。これから頑張って啓蒙していきたい。
- ・ 投票用紙の候補本に昔ばなしが入っていないのが残念。小学校の朝読で昔ばなしを取り上げると、子どもたちは非常によく聞いてくれる。また、学校でこういった事業のアピールをしてもよいのか迷う場面がある。
- ・ 図書館ですごいことをしているのに、知らない人が多い。メディアに働きかけたり、SNSを活用したりするなど、もっと宣伝を工夫しては。投票用紙を自分の判断でどの範囲まで配布してよいのか迷う。図書館共催・協力の催しなら問題ないのか。
- ・ 次は第10回となるので、候補本について、第1回から第9回までのベスト3の絵本を紹介するなどしてもいいのでは。

- ・いつまで続けるのか、人気投票でいいのかを考えたい。箕面市が実施している「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」では、1冊だけではなく、部門別に本を選ぶ形式にしている。赤ちゃんに人気があるもの、小学生に人気があるものはそれぞれ違う。漏れてしまったものをすくいあげる視点が必要だと思う。
- ・当初は、各区の絵本の会の代表が集まって候補本を選んでいった。途中から実行委員会形式になり、現在は参加していない区もある。候補本は毎回相談しながらラインナップを変えている。第1回目から参加している者にしたら当たり前になってしまっているが、参加する親や子どもにとっては初めての新鮮な出会いであり、それを大切にしていきたい。第10回では昔ばなしを候補本に入れるなど、委員のみなさんと考えていきたい。今回は投票用紙に書影を入れてカラー印刷できたのはとても良かった。毎回新しい視点を取り入れつつ、今後も続けていきたい。

(事務局より)

- ・行事でPRすることについて

実行委員会形式で行っているので、それぞれのグループの活動先で配るのは問題ない。ただし、学校の授業などで配布する場合は、学校と調整が必要。ある区では、その区で投票が多かった本を展示したり、学校でのおはなし会で「区民のみなさんが選んだ絵本」として読み聞かせしたりしたことがある。

- ・事業を広めることについて

今回の結果発表のポスターで「One Book One OSAKA」についての説明をさらにわかりやすく書くなど、工夫したい。次回の投票用紙にもわかりやすい説明を入れるようにしたい。

- ・大阪府立中央図書館ではこども資料室の入口に投票用紙を設置したが、お絵かきの用紙になるなど、有効票が少ない印象だった。投票期間終盤に大人向けの展示スペースに設置すると、それなりに集まった。次回以降も、大人向けのコーナーにも設置して投票を呼び掛けたい。自由記入のラインナップは図書館としても参考になる。子どもたちがいま読んで楽しいものを選んで印象がある。投票用紙については、何を選んだらよいかわからない子にとっては、古いものから新しいものまで絵本の表紙が並んでいることで投票のハードルが下がると思う。候補本と自由記入を組み合わせたこの形式は良いと思う。
- ・自由記入が多いという点に、気づかされることいろいろあるのではないか。みなさんに熱心、真摯に取り組んでいただいてありがたい。

(2) 事務連絡

- ・議事録は各図書館を通じて後日お送りするとともに、ホームページでも公開。
- ・4月23日発表用のポスターも各図書館へ送付するので、ボランティア活動の場でも掲示可能であれば各館を通じて送付部数をお知らせください。
- ・『りんごかもしれない』は日本語以外の言語でも出版されているので、これらもご活用ください。

次回：第13回実行委員会 令和7年2月～3月頃開催予定
(第10回 One Book One OSAKA の実施に向けて)